

第29回



セイロベトナム

●業務内容

CAD/CAMシステム・機器の販売及びサポート

●ベトナム事務所

5th fl, No. 31 Hoang Dieu, Ward 12, District 4, HCMC
 Tel: (08) 6261 6707 Fax: (08) 6261 6705
<http://www.saeilo.co.jp>

●日本本社

〒261-8501
 千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 幕張テクノガーデンB棟-2F
 Tel: 043-350-4811 Fax: 043-350-4812

千葉県に本社置き工作機械、CAD/CAMシステムの販売事業を行っているセイロジャパンの駐在事務所として2008年6月に設立されました。今回はセイロベトナムの代表者である竹花正典氏にお話を伺いました。

ベトナム進出の経緯を教えてくださいませんか？

弊社の親会社であるセイロジャパンは1982年に日本製、韓国製、台湾製の工作機械の輸入・販売を行う企業として設立され、その後、CAD/CAMソフトの輸入販売も行うようになりました。海外進出は1988年にはシンガポールに支店を設立し、1989年にタイ、1990年にはマレーシアへと進出を果たしています。また、ドイツとアメリカにもあります。

ベトナムに関して申し上げますと、実は弊社のベトナムとの関わり自体は古く、1991年が最初になります。ただ、その当時は本業の工作機械の販売としてではなく、ベトナム初の自動車の製造・販売企業であるメコンオート社の設立に際し51%を出資したのがそもそものベトナムとの関わりになります。

その後はベトナムに拠点を設けることは暫く無かったのですが、2008年にセイロジャパンのベトナム駐在事務所をホーチミン市の1区に設立しました。私自身は元々マレーシアに15年駐在しており、2009年からベトナムの駐在事務所代表者としてこちらに赴任して来ました。

弊社は産業の基盤となる金型の製造に関わる技術を世界に広げるという目的で活動を続けており、ベトナムも近年の急速な経済発展と工業化に伴い、今後益々金型の必要性が高まることを見越しての進出になります。金型というのは、国の基幹産業としての位置づけを担っておりまして、良い金型を作れるかどうかで、その国の勢いが決まるといっても過言ではありません。

世界最高の金型技術を持つ日本はもとより、ヨーロッパやアジアでもやはり金型の技術が高い国ほど成長しています。弊社は今後のベトナムの発展には必要不可欠である金型産業の発展に微力ながら貢献しているという自負もございませう。

一事業内容を教えてくださいませんか？

弊社は先ほども申し上げましたように工作機械とCAD/CAMシステムの販売を行っておりますが、ベトナムでは現在イスラエルのCimatron(シマトロン)社製のCAD/CAMシステムとMoldex(モルデックス)という樹脂モールドの流動解析ソフトの販売促進活動を行っております。

こういったソフトは、馴染みがない方も多いかもしれませんが、実は金型産業におい

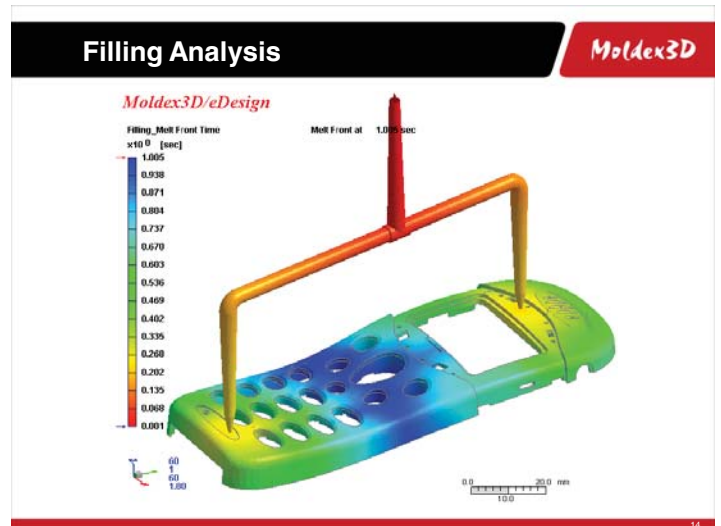
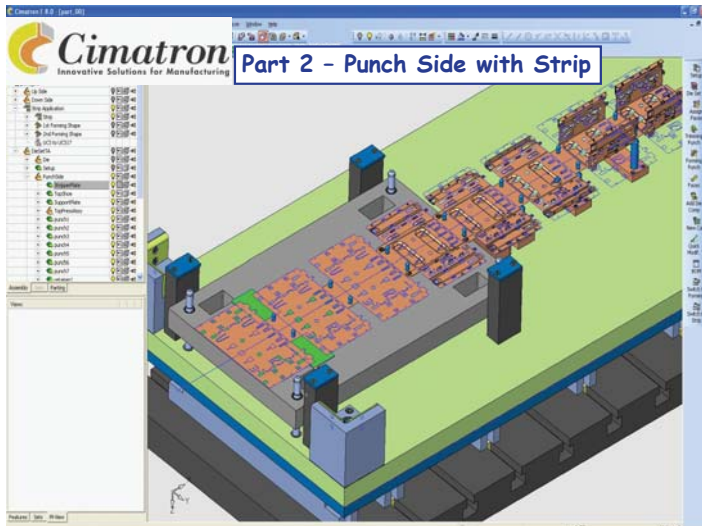
ては非常に重要なソフトです。

金型といいますのは皆さんもご存知のように、金属の型に溶けた素材を流し込んで固めることで製品を成型するものですが、Cimatronはその金型の設計を行うための専用のソフトになります。通常のCAD/CAMシステムというのは様々な分野の設計に利用される汎用型のソフトが多いのですが、弊社の取り扱っている製品は金型に特化しており、上流から下流まで一貫通で行えますので、金型設計を行うお客様には非常に使いやすいソフトになっています。

また、Moldexは、その型にプラスチックを注入する際にどこから、どれくらいの量を入れるとどのように成型されるかをシミュレーションできるソフトです。

弊社は工作機械とソフトの両方を販売しておりますが、日本を始めベトナム以外の拠点では、売上の70%が工作機械で、30%がソフト関連なのですが、ベトナムは今のところほぼ100%がCAD/CAMシステムとなっています。

現在弊社のお客様では約6割が日系企業で残りの4割がベトナム企業や台湾企業になります。



ーベトナムで活動されるに当ってご苦労された点はありませんか？

弊社は先ほども申し上げましたように現在のところはベトナムではCAD/CAMシステムの販売がメインなのですが、ベトナムはご存知のように違法コピーソフトが街中で手軽に購入できる状態ですので、正規品の販売には苦労しますね。マレーシアなどと比べてみましても、ベトナムはコピー製品の普及が堂々に行われているという印象ですね。

最近ではソフトメーカーの警告や啓蒙活動によって少しずつ改善してきてはいますが、それでもまだまだ海賊版の普及率が高いです。特にベトナムの民間企業ではその傾向が強いです。正規版を購入している企業でも、実際に正規版のライセンスは1台だけで後は全部コピーといったこともあります。

コピー製品への対策は頭の痛いところではありますが、現状を一度に変えることは難しいと感じていますので、皆さんには、時期が来たら正規版に買い換えてくださいとお話しする程度に留めています。ただ、最近ではベトナム政府も海賊版への対応を強化してきていますので、将来的にはこの状況は改善されていくと考えています。

ー以前駐在されたマレーシアと比べベトナムは如何ですか？

ベトナム人は細かい技術にも長けており、真面目で優秀な人達だと思いますし、技術についても貪欲に学ぼうという姿勢が高いのではないかと思います。ベトナムは先

ほども申し上げましたがソフトウェアの海賊版製品が横行しているために、一般の方でも比較的手軽にソフトが入手できますし、本屋さんには専用ソフトの解説書も充実していますので、興味のある人はどんどん自分で勉強できる環境になっておりますので、皆さん上手に操作されていると思います。金型は産業の基盤を担いますので、こういった人材が育つことはベトナムにとって良いことだとは思っています。

行政手続に関しましても周辺諸国に比べるとキチンとしている印象があります。手順さえきちんと踏めば、結果はきちんといただけるという印象です。マレーシアでは、決められた手順を守っていても理不尽な要求に悩まされたりしましたので、その点ではベトナムは素晴らしいと思います。ただ、ベトナム人は長期的な計画を立てるという点ではまだまだ足りない部分が多いと感じています。先を見据えた計画を立てられるようになることが今後の課題ではないでしょうか。

ー今後の展望を教えてくださいませんか？

弊社は現在ベトナムではCAD/CAMシステムの販売がメインになっていますが、将来的には工作機械の販売をメインに行って生きたいと考えており、その為に来年早々の現地法人の設立も視野に入れて現在準備を進めております。

マレーシアやタイでは工作機械の販売だけではなく、20年以上の経験を持つ日本人エンジニアを常駐させ、メンテナンスや

修理に対応しております。工作機械、特に量産機械は機械が止まったら命取りになりますので、それを素早く修理できる体制を整えて、お客様には大変喜んでいただいておりますので、ベトナムでも将来的にはそのようなサポート体制も充実させた工作機械の販売を行っていかねばと考えています。

弊社は今年10月にホーチミン市のSECCで開かれるMETALEX展示会にも出展いたします。そこでは、工作機械など弊社の取扱商品を展示する予定ですので、興味のある方は、是非お立ち寄りいただければと思います。

ーありがとうございました。

